

kanamoto カナモトエクサミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.75

第52期(2016年10月期)第1四半期号

News! 国土交通省推進の「i-Construction」がスタート

2016年4月から、国土交通省が推進する「i-Construction (アイ・コンストラクション)」がスタートしました。同省はこれまで3次元データを駆使した情報化施工やCIM (コンストラクション・インフォメーション・モデリング)、ドローン (無人機) など、さまざまなICT (情報通信技術) 関連技術の導入・検討を進めてきましたが、「i-Construction」はこれらを統合して建設現場の生産性をさらに向上させようという新たな取り組みです。

当社ではすでに情報化施工の専門部署を設置しているほか、情報化施工対応の建設機械の導入やシステム運用のサポートを実施しています。今後も一層の活発化が予想されるICT活用の建設生産システムに対応してまいります。



当社が積極導入している情報化施工対応の建設機械

東日本大震災への対応 ⑩ —— 復興・創生期間という新しい5年間に移行

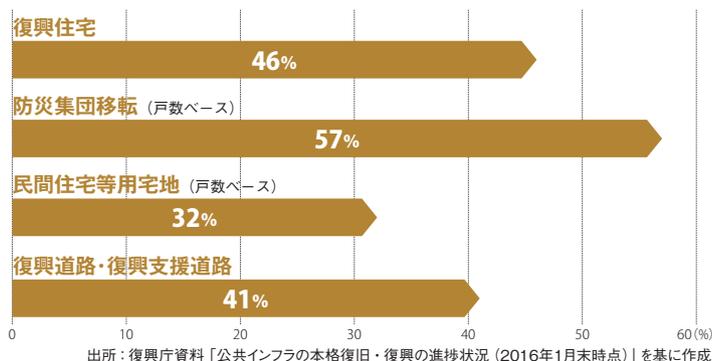
社会・生活基盤の再建に向けて、引き続き復興支援に努めてまいります。

東日本大震災の発生から5年が経過しました。被災地に政府予算を重点配分する「集中復興期間」が2016年3月で終わり、4月から「復興・創生期間」という5年間の新たなフェーズに入ります。

今後も「防災集団移転促進事業 (高台移転)」などの基幹的事業のほか、三陸沿岸道路や相馬福島道路、市町村による防潮堤の建設などが復興に不可欠な事業として引き続き行われます。

当社グループは社会インフラとしてのレンタルの使命を果たすべく、引き続き復興支援に尽力してまいります。

■ 住宅再建と道路交通網の完了率



宮城県気仙沼市の防災集団移転工事

宮城県牡鹿郡女川町のURまちづくり工事



宮城県気仙沼市の三陸道 (左) と復興道路の整備工事

第52期第1四半期決算の概況 [平成27(2015)年11月1日～平成28(2016)年1月31日まで]

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	1株当たり四半期(当期)純利益 (円)
第52期第1四半期	35,079 (△3.4)	4,069 (△35.5)	4,063 (△36.2)	2,533 (△37.6)	71.70
第51期第1四半期	36,327 (9.6)	6,306 (11.6)	6,373 (12.1)	4,062 (21.4)	112.72

●連結業績予想

第52期第2四半期	68,000 (△0.5)	9,280 (△12.9)	9,230 (△13.4)	5,750 (△12.0)	162.71
第52期通期	133,900 (0.5)	16,340 (0.4)	16,270 (0.7)	10,230 (7.0)	289.48

(注) 括弧内の数字は、前年同期増減率(%)を示しております。

[経営環境]

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、積極的な経済政策や金融政策の継続により、企業収益の回復や雇用環境が改善し、個人消費にも持ち直しの動きがみられるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、世界経済の停滞、為替の変動や原油価格の急落などの諸要因から、景気の先行きについては依然として慎重な見方で推移しました。

[第1四半期の連結業績]

当社グループが関連する建設業界におきましては、民間建設投資は改善傾向にある企業収益を背景に堅調に推移した一方で、公共投資が減少に転じるなど、全体としての建設需要は前年度を下回る水準で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画(平成26年度～平成28年度)の諸施策に基づく重点項目の推進に努めました。主たるマーケットである国内においては、首都圏等に拠点を拡充するとともに、営業に供しているレンタル用資産については、各地の需要に応じた適正配置を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は350億79百万円(前年同期比3.4%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は40億69百万円(同35.5%減)、経常利益は40億63百万円(同36.2%減)、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億33百万円(同37.6%減)となりました。

[セグメント別の業績]

建設関連

当社の主力事業である建設関連におきましては、各地域で人材不足などの要因から予算執行に鈍化がみられるなど当初想定していたおりの環境でありました。ただ、公共投資の減少影響を大きく受けた北海道などの地域においては建設機械のレンタル需要が想定以上に減少するなど、停滞感の強い厳しい事業環境となりました。

中古建機販売につきましては、前年同期は売却抑制分として前々期からずれ込んだものを含め自社機売却が多く、これによる収益増がありました。当期は例年並みの中古機売却に止まったことにより、前年同期比60.2%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は325億40百万円(前年同期比4.7%減)、営業利益は39億円(同36.6%減)となりました。

その他

その他の事業につきましては、鉄鋼関連、情報通信関連ともに堅調に推移したことから、売上高は25億39百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は67百万円(同1.6%増)となりました。

[事業所数の増減]

当第1四半期連結会計期間における拠点の新設は1拠点でありました。なお、拠点の閉鎖はありませんでした。

新設：熊谷営業所(埼玉県熊谷市)

■ 連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

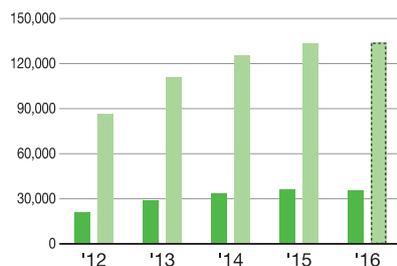
(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2014.11.1~2015.1.31)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)
① 売上高	36,327	35,079
売上原価	24,062	24,782
売上総利益	12,265	10,297
販売費及び一般管理費	5,959	6,228
② 営業利益	6,306	4,069
営業外収益	232	164
営業外費用	165	170
③ 経常利益	6,373	4,063
特別利益	128	5
特別損失	10	15
税金等調整前四半期純利益	6,490	4,053
法人税、住民税及び事業税	2,014	1,072
法人税等調整額	271	325
四半期純利益	4,204	2,655
非支配株主に帰属する四半期純利益	142	121
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益	4,062	2,533

連結包括利益計算書(累計)

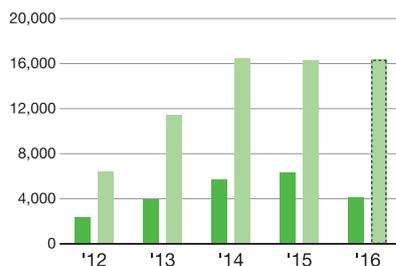
(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2014.11.1~2015.1.31)	第52期第1四半期 (2015.11.1~2016.1.31)
四半期純利益	4,204	2,655
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306	△ 401
繰延ヘッジ損益	△ 1	0
為替換算調整勘定	29	32
その他の包括利益合計	334	△ 368
四半期包括利益	4,539	2,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,392	2,165
非支配株主に係る四半期包括利益	147	121

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

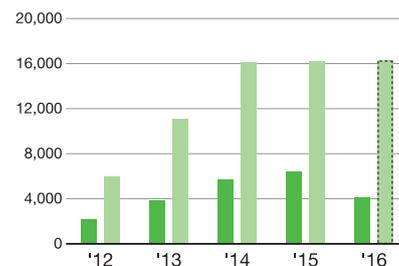
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



連結貸借対照表

(単位:百万円)	第51期第1四半期 (2015.1.31)	第52期第1四半期 (2016.1.31)
(資産の部)		
流動資産	82,244	84,265
固定資産	123,510	125,615
有形固定資産	114,881	117,841
無形固定資産	257	338
投資その他の資産	8,370	7,435
⑤ 資産合計	205,755	209,881
(負債の部)		
流動負債	68,287	70,136
固定負債	68,138	66,167
負債合計	136,425	136,304
(純資産の部)		
株主資本	64,714	69,424
資本金	13,652	13,652
資本剰余金	14,916	14,916
利益剰余金	36,201	42,983
自己株式	△ 56	△ 2,128
その他の包括利益累計額	2,322	1,622
その他有価証券評価差額金	2,284	1,546
繰延ヘッジ損益	△ 1	—
為替換算調整勘定	38	75
非支配株主持分	2,292	2,530
⑥ 純資産合計	69,329	73,577
負債純資産合計	205,755	209,881

とってもいいモノ 読者プレゼント

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様に当社のオリジナルノベルティグッズをお贈りします。

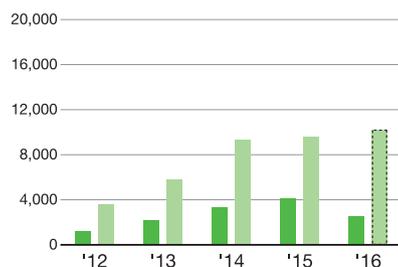
今号のプレゼントは、持ち歩きに便利な「折りたたみ式靴べら」です。クロムメッキ仕上げのヘラ部分に当社グループマークとkanamotoのロゴを打刻。グリップには使い込むほどに独特の風合いを増す本革(牛皮革)を使用しています。鞆やポケットに入れておけば、外出先で重宝する携帯用シューホーン。この機会をお見逃しなく、ふるってご応募ください。



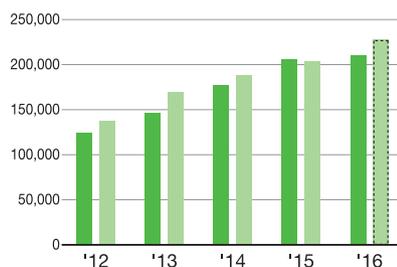
サイズ:長さ107mm(使用時)×幅37mm
※特製紙筒ケース入り

ご応募の締め切りは2016年5月20日(金)当日消印有効です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

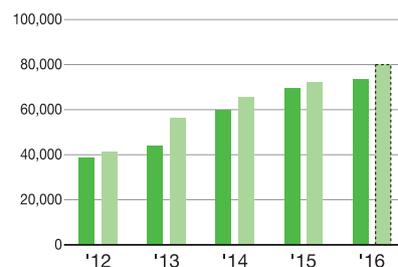
④ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

TOPICS

IR IR関係

事業関係

イベント

- 1Q**
- 2015.11 IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 大阪に参加
 名岐エンジニアリング株式会社および東友エンジニアリング株式会社との業務提携について発表
- 2015.12 IR 第51期（2015年10月期）決算発表
 IR 【東京】第51期決算説明会を実施（機関投資家向け）
 IR 野村IR資産運用フェア2015に出展（ベルサール渋谷ガーデン）
 IR 剰余金の配当について発表
- 2016.1 IR 熊谷営業所（埼玉県熊谷市）を開設
 株式会社ニシケンとの資本業務提携契約書の締結および子会社化について発表
 第51回定時株主総会を開催



- 2Q**
- 2016.2 IR ラジオNIKKEI 8都市IRセミナー in 名古屋に参加
 郡山営業所（福島県郡山市）をリニューアルオープン
- 2016.3 IR 第52期（2016年10月期）第1四半期決算発表
 株式会社ニシケンとの資本業務提携契約書の締結および子会社化（開示事項の経過）について発表
 フィリピンの現地法人が営業を開始
- 2016.4 入社式・新入社員研修を実施（2016年度の新入社員は84名）
 桶川北本営業所（埼玉県北本市）を開設



カナモトサンクスフェア2016 開催カレンダー

今年も「カナモトサンクスフェア」を開催します。下のカレンダーで開催予定をチェックしていただき、お近くで開催の際はぜひご来場を！皆様のお越しをお待ちしております。

■ カナモト営業所 □ グループ企業



開催日は予定となります。諸般の事情で変更となる場合がございます。お越しの際は、事前に当社ホームページでご確認をお願いいたします。

<http://www.kanamoto.co.jp>

会社概要

商号	株式会社力ナモト(英文: Kanamoto Co., Ltd.)
本社	北海道札幌市中央区大通東3丁目1番地19
営業統括本部	東京都港区芝大門1丁目7番地7
設立	1964(昭和39)年10月28日
資本金	136億52百万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部・札幌証券取引所
証券コード	9678
発行済株式総数	36,092千株
連結売上高	1,332億92百万円(2015年10月期)
連結従業員数	2,465名(2015年10月31日現在) (役員、嘱託、臨時社員を除く)

株主メモ

事業年度	11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日

株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社
同郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社
及び電話照会先	

役員

代表取締役社長	金本 寛中*	常勤監査役	金本 栄中
取締役	金本 哲男**		横田 直之
	卯辰 伸人***	監査役	橋本 昭夫
	成田 仁志*		辻 清宏
	平田 政一*		直井 院
	北方 敬一*		曾我 浩司
	磯野 浩之*	執行役員	熊谷 浩
	金本 龍男*		問谷 悟
	長崎 学*		北川 健
	麻野 裕一*		
	棕梨 直樹*		
	橋口 和典*		
	益子 哲郎		
	野上 善弘		
	米川 元樹		

(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。
(注2) **印の取締役は副社長執行役員を兼任しております。
(注3) ***印の取締役は専務執行役員を兼任しております。
(注4) 取締役益子哲郎氏及び取締役野上善弘氏、取締役米川元樹氏は社外取締役であります。
(注5) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井院氏並びに監査役曾我浩司氏は社外監査役であります。

当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <https://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

証券代行部 〒100-8212 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711

株式に関する各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求
その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価チャート (週足)

単位:円



r100
古紙配合率100%再生紙を使用



本誌は、再生紙と
ベジタブルオイルインキを使用しております。



株式会社 加計

(東証一部・札証 証券コード9678)

本社

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel:(011)209-1600(大代表)

営業統括本部

〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目7番地7

<http://www.kanamoto.co.jp>